

# 災害からいのちを守る行動を

# ～安全な場所に逃げる～

## 防災力向上のための3つの取り組み

### 1. 新型コロナウイルス感染症対策

○発熱者専用避難場所の設置

### 2. 新たな避難場所の確保

○ペット同伴専用避難所の設置

### 3. 高齢者など要配慮者の支援

○避難が難しい人へ声掛けなどの支援

○安心して避難できるホテル・旅館との協定

## ペットも家族



大切な家族であるペットと一緒に避難ができる「ペット同伴専用の避難所」を市民ホールに設置します。開設はほっとメールなどでお知らせします。

## 新型コロナウイルス感染症対策



避難場所では密になりやすく、感染症への対策が必須であるため、安心して避難できるように避難場所運営訓練などを実施します。

○避難者間のソーシャルディスタンスの確保

○職員による迅速な避難場所開設のための訓練

## 高齢者など要配慮者の支援

災害時には高齢者や障害がある人などの要配慮者が逃げ遅れて被害を受ける可能性が大きくなります。逃げ遅れがないように民生委員などと協力して声掛けなどの支援を行います。

○避難が難しく支援を必要とする名簿の作成

○安心して避難できるホテル・旅館との協定

### 「もしも」の時の避難支援名簿

避難が難しい人へ民生委員や警察などが協力して支援する名簿を作成しています。登録には条件がありますので、地域安全課へお問い合わせください。

## 市長コラム

### 防災には一人一人の行動が大切

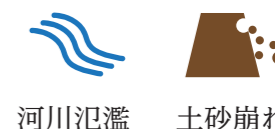
災害時に最新の気象情報を取得して、空振りを恐れずに避難情報を発信するため、市では市内の機関や県だけでなく、前橋地方気象台、高崎河川国道事務所、下久保ダム管理所とも連絡体制を重点的に確認しました。

市民の皆さんは、ぜひ、ハザードマップを見返して、避難場所と移動経路を確認してください。避難行動中の様子をイメージしてみてください。親類・知人の方とも、あらためて連絡を取り合ってください。皆さんの命を守るためには、皆さん自身の日頃の備えと、迅速な行動が何よりも大切です！

問い合わせ 地域安全課(☎27444)



## 台風シーズン前に見てください！ ～ハザードマップ～



河川氾濫 土砂崩れ

自分の住んでいる場所にどんな危険があるのか、一度だけでなく二度、三度とチェックしましょう。

浸水がどのくらいの想定か

土砂崩れが起こりやすい地域か



## ① 逃げる場所・経路を確認！



○逃げる経路を実際に確認

・夜間や浸水時を想定

・子どもや高齢者が一緒に逃げることも想定

・特に用水路、アンダーパス、崖、河川の近くは注意

## ② 避難場所へ逃げる！



○避難情報をふじおかほっとメール・市ホームページ・群馬テレビデータ放送などで確認

○次の場合は避難場所への避難は不要

・浸水・土砂災害の危険がない

・避難経路で災害が発生し、自宅の方が安全確保できる

## ③ 高い場所へ逃げる！



○自宅の2階以上へ！もっと上は可能か

・少しでも高い場所へ避難

・土砂の流入などの危険性の高い所から遠い部屋へ避難